

3. 取り組みの状況

医療安全に関する取り組みの具体例をあげ、各調査対象の取り組み状況を一覧に整理した。

なお、ここで挙げる取り組み状況は、書面調査の中で各施設から「取り組んでいる」との情報を得たものに限るものである。(したがって、書面調査への回答はなかったが取り組んでいる場合もありうる。) また、取り組んでいるとの回答があってもコストが不詳の場合には、表中に○を付けているが、後掲のコストには計上されていない。

(1) 病院 (300床未満) の取り組み状況

調査項目	取り組み内容	病院 (300床未満)					
		A	B	C	D	E	F
1 委員会・会合	安全管理委員会	○	○	○	○	○	○
	感染制御委員会	○	○	○	○	○	○
	事故調査委員会	—	○	○	○	—	—
	薬事委員会	○	○	○	○	○	○
	その他の委員会	○	○	○	○	○	—
2 内部レビュー	院内視察・査察	—	—	—	—	○	○
	マニュアル遵守	○	○	○	○	—	—
	診療録レビュー	—	—	—	○	—	—
	各種検討会 (化学療法、輸血、抗生剤)	○	○	○	○	—	—
3 院内研修	安全管理研修	—	○	○	○	○	○
	感染制御研修	—	○	○	○	○	○
	救急救命研修	—	○	—	○	○	—
	新人看護職研修	—	○	—	○	—	—
4 院外研修	安全管理研修	○	○	○	○	○	○
	感染制御研修	○	○	○	○	○	○
	救命・除細動機講習	—	○	—	○	—	—
5 安全管理機器・設備	リストバンド	○	○	—	○	○	○
	転倒防止器具	○	○	○	—	○	○
	警報装置	—	○	○	—	—	○
	看護支援携帯端末	—	○	○	—	—	—
	オーダーエントリーシステム	—	○	—	○	—	—
	AED	—	○	—	—	—	—
6 感染制御機器・設備	消毒・洗浄剤	○	○	○	○	○	○
	グローブ・マスク・ガウン	○	○	○	○	○	○
	抗菌カテーテル	○	—	○	—	—	—
	針刺防止器具	○	○	—	—	—	○
	オートクレーブ	○	○	○	○	○	—
	空気洗浄器	—	—	○	—	○	—
	手洗い機器	○	○	○	○	○	—
	陰圧隔離室	—	—	—	—	—	—

調査項目	取り組み内容	病院（300床未満）						
		A	B	C	D	E	F	
7	医療機器の管理	臨床工学技士配置	—	○	—	○	—	
		ME 機器定期点検	—	○	—	○	○	○
8	医薬品の管理	薬剤師の服薬指導	○	○	○	○	○	○
		薬剤師の注射剤調製	—	○	—	○	○	—
		クリーンベンチ・安全キャビネット	—	—	—	○	—	—
		冷蔵保管庫	○	○	○	○	○	○
		自動分包機	○	○	—	○	○	○
		医薬品管理システム	—	—	○	—	—	—
9	廃棄物処理	感染性器具廃棄容器	○	○	○	—	—	○
		感染性廃棄物保管庫	○	—	○	○	○	—
		感染性廃棄物処理施設	—	—	—	—	—	—
		感染性廃棄物処理委託	○	○	—	○	○	○
		産業廃棄物保管庫	○	○	○	○	○	○
		産業廃棄物処理委託	○	○	○	○	○	○
10	インシデント・アクシデントレポート	インシデントレポート	○	○	○	○	○	○
		アクシデントレポート	○	○	○	○	○	—
		分析・改善立案	○	○	○	○	○	○
11	マニュアル	感染制御マニュアル	○	○	○	○	○	○
		事故防止マニュアル	○	○	○	○	○	○
12	外部評価	病院機能評価	○	○	○	○	○	○
		ISO9001	—	—	—	—	—	—
13	院内感染サーベイランス	MRSA	—	○	—	○	—	○
		疥癬	—	○	—		—	—
		術後感染	○	—	—		—	○
		手術スタッフ手指細菌検査	—	—	—	○	—	—
		手洗滅菌水細菌検査	—	—	—	○	—	—
		手術台細菌培養	○	—	—	—	—	—
		人工呼吸器関連肺炎	—	—	—	—	—	—
手洗い評価	—	—	○	—	—	—		
14	職業感染防止	抗体検査	○	○	○	○	○	○
		インフルエンザワクチン	○	○	○	○	○	○
15	賠償責任保険	病院が被保険者	○	○	○	○	○	○
		従業員が被保険者	○	—	○	○	—	—
16	安全管理人員配置	専任リスクマネージャー	—	○	—	—	—	—
		兼任リスクマネージャー	—	○	—	○	—	○
		施設管理者が兼任	○	—	○	—	○	—
17	感染制御人員配置	感染担当マネージャー	—	○	—	—	—	—
		リンクナース	—	—	—	—	—	—
		施設管理者が兼任	○	—	○	○	○	○

※表中の“○”は「取り組んでいる」との情報を得たことを、“—”は情報を得ていないことを示している。

(2) 一般診療所（有床）の取り組み状況

調査項目	取り組み内容	一般診療所（有床）			
		A	B	C	D
1 委員会・会合・ 院内研修	安全管理委員会	○	○	○	○
	感染防止対策委員会	○	○	○	○
	新人看護師の研修	○	○	○	—
	初任時研修・オリエンテーション	○	○	○	—
	内部レビュー・ラウンド	○	—	—	—
2 院外研修	安全管理研修	—	○	—	○
	感染制御研修	—	○	—	—
	その他の研修	—	○	—	—
3 安全管理機器・ 設備	看護支援端末	○	—	—	—
	警報装置	○	○	○	—
	転落防止器具	○	—	—	—
	衝撃吸収材	○	—	—	—
	テレビ監視装置	○	—	—	—
	手術用モニター	○	—	—	—
	手すり	—	○	—	—
4 感染制御機器・ 設備	消毒・洗浄剤	○	○	○	○
	グローブ・マスク・ガウン	○	○	○	○
	抗菌カテーテル	○	—	○	○
	抗菌床材	○	—	○	—
	陰圧隔離室	—	—	—	—
	オートクレーブ	○	○	○	—
5 医療機器、医薬 品等の管理等	X線機器検査	—	○	—	—
	医薬品の管理・保守	○	○	—	—
6 廃棄物処理	廃棄物保管庫	—	○	—	—
	感染性廃棄物処理委託	○	○	○	○
	非感染性廃棄物処理委託	○	○	○	○
7 インシデント・ アクシデントレ ポート	インシデントレポート	○	○	○	○
	アクシデントレポート	○	—	○	—
	分析・改善立案	○	○	○	○
8 マニュアル	感染・消毒マニュアル	—	○	—	○
	事故防止マニュアル	—	○	—	○
	その他のマニュアル	○	—	—	—
9 外部評価	ISO9001	—	—	—	—
10 職業感染防止	抗体検査	—	○	○	○
	インフルエンザワクチン	○	○	○	—
	その他検査	—	○	—	—
11 賠償責任保険	医療機関が被保険者	○	○	○	○
	従業員が被保険者	—	—	○	—
12 安全管理 人員配置	安全管理責任者等の任命	—	○	—	○
	施設長が兼任	○	—	○	—

※表中の“○”は「取り組んでいる」との情報を得たことを、“—”は情報を得ていないことを示している。

(3) 一般診療所（無床）の取り組み状況

調査項目	取り組み内容	一般診療所（無床）					
		A	B	C	D	E	F
1 委員会・会合・院内研修	安全管理委員会	—	—	—	—	—	—
	感染防止対策委員会	—	—	—	—	—	—
	新人看護師の研修	—	—	—	—	—	○
	その他の会合・院内研修	○	—	—	○	○	○
2 院外研修	安全管理研修	—	○	—	○	—	○
	感染制御研修	—	○	○	—	○	—
	その他の研修	—	○	—	○	○	○
3 安全管理機器・設備	看護支援端末	—	—	—	—	—	—
	警報装置	—	—	—	—	—	○
	救急薬セット	—	—	○	—	—	—
	酸素ボンベと吸入マスク	—	—	○	—	—	—
4 感染制御機器・設備	消毒・洗浄剤	○	○	○	○	○	○
	グローブ・マスク・ガウン	○	○	○	○	○	○
	オートクレーブ	○	○	○	○	○	○
	空気清浄機	—	○	—	○	○	○
	滅菌灯（白癬菌用）	—	○	—	—	—	○
	その他機器	—	○	○	—	○	—
5 医療機器、医薬品等の管理等	X線機器検査	—	○	—	—	—	—
	医薬品の管理・保守	—	—	○	○	—	—
	麻酔カート	—	—	—	—	○	—
6 廃棄物処理	感染性廃棄物処理委託	○	○	○	○	○	○
	非感染性廃棄物処理委託	○	○	—	○	—	○
7 インシデント・アクシデントレポート	インシデントレポート	—	—	—	○	○	—
	アクシデントレポート	—	—	—	—	—	—
	分析・改善立案	—	—	—	○	○	—
8 マニュアル	感染・消毒マニュアル	—	—	—	○	○	—
	事故防止マニュアル	—	—	—	—	—	—
	その他のマニュアル	—	—	—	○	○	—
9 外部評価	ISO9001	—	—	—	—	○	—
10 職業感染防止	抗体検査	—	○	—	—	○	—
	インフルエンザワクチン	○	○	○	○	○	○
	その他検査	—	—	—	○	○	—
11 賠償責任保険	医療機関が被保険者	○	—	○	○	○	○
	従業員が被保険者	—	○	—	—	○	○
12 安全管理人員配置	安全管理責任者等の任命	—	—	—	○	—	—
	施設長が兼任	○	○	○	—	○	○

※表中の“○”は「取り組んでいる」との情報を得たことを、“—”は情報を得ていないことを示している。

(4) 歯科診療所の取り組み状況

調査項目	取り組み内容	歯科診療所						
		A	B	C	D	E	F	G
1 委員会・会合・院内研修	安全管理委員会	○	○	○	—	○	○	—
	感染防止対策委員会	○	○	○	○	○	○	—
	医療事故調査委員会	○	○	—	○	—	○	—
2 院外研修	安全管理研修	○	—	—	—	—	○	—
	感染制御研修	—	○	○	—	○	—	—
3 安全管理機器・設備	モニター(酸素飽和度)	○	○	—	—	—	○	○
	血圧計	○	○	○	○	○	○	○
	救急薬セット	○	○	○	○	○	○	○
	エアウェイ	○	○	○	○	○	○	○
	人工呼吸用バッグ・マスク	○	○	○	—	—	○	—
	酸素ボンベと吸入マスク	○	○	○	○	○	○	○
	AED	○	—	—	—	—	—	—
	粉塵バキューム	—	○	—	○	○	—	○
	浄水器	○	○	—	—	—	○	○
心電計	○	—	—	—	—	○	—	
4 感染制御機器・設備	消毒・洗浄剤	○	○	○	○	○	○	○
	グローブ・マスク・ガウン	○	○	○	○	○	○	○
	乾熱滅菌器	○	○	○	○	—	—	—
	その他滅菌器	○	○	○	○	○	○	○
	超音波洗浄器	—	○	○	○	○	○	○
	抗菌床材	—	—	—	○	—	—	—
5 医療機器、医薬品等の管理等	ユニット保守点検	—	○	—	—	○	○	○
	X線量測定	○	○	—	—	—	○	—
	医薬品の管理・保守	○	○	—	○	○	○	○
	薬品保冷庫	○	—	—	—	—	○	—
	麻酔カート	○	—	—	—	—	—	—
6 廃棄物処理	廃棄物保管庫	○	○	—	—	—	○	○
	感染性廃棄物処理委託	○	—	○	○	○	○	○
	その他廃棄物処理委託	○	○	○	○	○	○	○
7 インシデント・アクシデントレポート	インシデントレポート	○	○	○	—	—	○	—
	アクシデントレポート	○	—	○	—	—	○	—
	分析・改善立案	○	○	○	—	—	○	—
8 マニュアル	感染・消毒マニュアル	○	—	○	○	○	○	—
	事故防止マニュアル	—	—	○	—	—	○	—
	診療マニュアル	○	○	—	—	—	○	—
	その他のマニュアル	—	○	—	—	○	○	—
9 外部評価	ISO9001	—	○	—	—	—	—	—
10 職業感染防止	抗体検査	○	○	○	○	○	○	○
	インフルエンザワクチン	○	○	—	○	—	○	○
11 賠償責任保険	医療機関が被保険者	○	○	○	○	○	○	○
	従業員が被保険者	—	—	—	○	—	○	—
12 安全管理人員配置	安全管理責任者等任命	○	○	—	—	—	○	—
	施設長が兼任	—	—	○	○	○	—	○

※表中の“○”は「取り組んでいる」との情報を得たことを、“—”は情報を得ていないことを示している。

(5) 保険薬局の取り組み状況

調査項目	取り組み内容	保険薬局										
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	
1	委員会・会合・打合せ	安全対策委員会	—	—	○	○	—	—	○	—	○	—
		製薬会社 MR を招いての研修会	○	○	○	—	○	○	○	—	—	○
		その他の会合・打合せ	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○
2	研修	内部研修	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—
		外部研修・学会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	調剤業務における安全対策	鑑査機器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		薬歴管理システム	○	○	○	—	○	—	—	○	○	○
		その他の機器	○	○	○	○	—	○	—	○	○	○
4	医薬品等の安全管理	規制医薬品のリスト化	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
		規制医薬品の区分保管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		装置瓶、調剤棚への用法等の記載	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
		薬剤の注意掲示	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
		薬剤の注意扉等への確認	○	—	—	○	○	○	○	○	—	—
		医薬品の検収	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		受発注に用いる機器	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	副作用防止	情報収集・管理体制整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		患者特定の仕組みの整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	感染制御および無菌製剤	使用済み注射針についての患者への広報	—	—	○	—	○	—	○	○	○	○
		感染性廃棄物分別保管	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○
		感染性廃棄物処理委託	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		クリーンベンチ	—	—	—	—	—	○	—	—	○	—
7	インシデント・アクシデントレポート	インシデントレポート	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
		アクシデントレポート	—	—	—	○	○	○	○	○	—	—
		分析・改善立案	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
8	マニュアル	調剤業務マニュアル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		事故防止マニュアル	—	—	—	—	—	○	—	○	○	—
		機器操作マニュアル	○	—	—	—	—	—	—	—	○	—
		その他のマニュアル	—	—	—	○	—	—	○	○	○	—
9	外部評価	ISO9001	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
10	職業感染防止	抗体検査	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
		インフルエンザワクチン	—	—	○	—	○	—	—	○	○	○
		その他検査	—	—	—	—	—	○	○	—	—	—
11	賠償責任保険	薬局が被保険者	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		従業員が被保険者	○	○	○	—	○	○	○	○	—	○
12	安全管理人員配置	安全管理責任者等の任命	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—
		施設長が兼任	○	○	—	—	○	○	○	○	—	○

※表中の“○”は「取り組んでいる」との情報を得たことを、“—”は情報を得ていないことを示している。

4. 調査結果の考察と今後の課題

○今回の調査は、医療安全に係るコストを把握するための調査手法の開発を意図したものである。調査対象施設は先進的な取り組みを行っている医療機関等であり、対象施設数が限られているため、この結果は全国の傾向を代表するものではない。また、把握したコストについても調査で規定した内容に限られていることに留意する必要がある。今後、医療安全に関するコストについて政策に活用できるデータを得るためには、本調査結果を基礎として、さらなる調査を実施することが望まれる。

○全般的に、医療安全に係る取り組み内容は、医療機関等の特性などによって異なる傾向がうかがえた。例えば、施設の種類や規模、扱う診療科目、外科的処置の実施の有無、院外処方の実施状況などにより取り組みが異なる傾向があり、それがコストに反映されていると考えられる。

○このため、調査対象を決める際に、医療機関等の特性などを勘案して区分する必要がある、調査対象の区分、並びに各区分における標本数の規模について今後検討する必要があると考えられる。

<今後の課題>

○調査対象の項目や範囲の検討

医療安全に関するコストについては、対象とする取り組み（各種確認作業や患者等に対する説明と同意などの活動や必要とされる物品等）の項目や範囲を明確にすることが難しい。そのため、今回の調査においては、取り組み内容を具体的に回答してもらう等、詳細な調査が必要になった。また、一部の取り組みについては、実施の有無を把握するのみでコストの把握に至らないものがあった。調査対象の項目や範囲についてはさらなる検討が必要と考えられる。

○IT 機器や外部評価等に関するコストの把握

IT 機器や外部評価に関しては、費用負担が大きく、現在は施設によって導入状況に格差があり、特に、IT 機器については医療安全に係るコストの把握が難しいため、今回の調査ではそのコストは別掲とした。また、医療安全等に関するマニュアル作成等のコストについても、作成・更新を繰り返しているため年間費用としての把握が困難であった。これらの取り組みの医療安全に係るコストをどのように算出するかについて今後検討する必要がある。

○人的コストの算出方法

今回の調査では、人的コストについて国家公務員の給与単価を適用したが、民間医療施設等における給与水準は異なることから、より適切な人件費の把握方法の検討が必要になると考えられる。

○規模の違いとコストとの関連

今回の調査では、規模による違いを調整するためにコストの医業収入割合を算出し、施設の種類ごとに平均値を求めた。また、病院と有床診療所では1病床1日当たりの費用、無床診療所と歯科診療所では患者1人1回当たりの費用、保険薬局では処方せん1枚当たりの費用を算出したが、例えば、病院では、外来の規模、外科的処置の規模、院外処方の実施規模などによりコストが異なってくることに留意する必要がある。

○効果計測の手法

医療安全に係るコストの把握については、取り組みに対する効果の把握と評価が必要となるが、効果計測の手法は確立されていない。医療安全対策に資する効果計測手法（クリニカルインディケーター等）は、国を中心として各種の研究が進められており、今後の研究成果が待たれるところである。今回の調査では、取り組みによる効果を把握することができなかったが、それを測定する指標についても今後検討していくことが求められる。